

開催要項

「重度障害児・者のためのコミュニケーション支援セミナー in 一関」

～まあそう言わず、やってみましょう!なんとかなります。～

1. 概要

障害がたいへん重く、これまで意思の表出が難しいとされていた人でも、テクノロジーを活用することで表出が可能となり、周囲とコミュニケーションが図れるようになります。「視線入力」等の最新のテクノロジーを使いこなせば、大きく生活の質を豊かにすることができます。

このセミナーでは、第一線を走る専門家・技術者・支援者による講演や当事者による実演を交えた紹介を行い、参加者の皆さんで、ちょっと先の未来を明るい未来に変えていきます。ICT 機器の体験会や相談会も行います。

2. 日時・場所

2019年6月9日(日) 9:30～15:00(開場 9:00)

〒021-0041 岩手県一関市字赤荻字上台 96 番5 岩手県立一関清明支援学校 体育館

3. 参加費 無料(交流会参加は 300 円)

4. 対象者 障害者支援に関心のある方(およそ 70 名) *所属不問

5. タイムテーブル *変更の可能性があります

09:00～09:30 受付

09:30～12:00 講演(実践紹介)

12:00～13:00 昼食&ランチョンセミナー

13:00～15:00 講演(実践紹介)・支援機器の体験および相談会

15:15～16:00 交流会

6. 講師

氏名	所属	プロフィール
伊藤史人	島根大学総合理工学部 助教	視線入力の第一人者。EyeMoT シリーズ、振動フィードバックシステム/パイプマンを開発。バリアフリーマップアプリ Wheelog! 技術責任者。2017 年日本賞クリエイティブ・フロンティア部門最優秀賞、2018 年島根大学研究表彰および優良教育実践表彰を受賞。
中島勝幸	株式会社ユニコーン 代表取締役	視線入力ソフト miyasuku EyeCon 開発者。使用者の要望に応じて文字入力等、操作しやすいソフトに更新し続けている。
高橋正義	秋田県立能代支援学校 教諭	特別支援学校において視線入力の実践・研究に取り組み、実践を丁寧にまとめ公表している。
林崎俊男	青森県立浪岡養護学校 教諭	特別支援学校において視線入力を取り入れた指導に積極的に取り組み、周知活動を行っている。
柳沼佑介	神奈川県立中原養護学校 教諭	特別支援学校において支援入力の実践・研究に取り組み、実践の成果をあげている。
原田稜大	SMA I 型当事者 栃木県那須塩原市在住	視線入力装置とスイッチを併用し、MMD(3DCG ムービー製作ツール)を使用してクリエイティブ活動を行っている。15 歳。
引地晶久	西部島根医療福祉センター 作業療法士	西部島根医療福祉センター 作業療法士 日本最多の重症心身障害児者への視線入力実践者。重度障害者の「できる」「わかる」を支援している。
板倉ミサヲ	岩手県滝沢市 瑞雲荘(入所者)	77 歳の元女子高生。平成 30 年度 岩手県立盛岡となん支援学校を卒業。

7. お申し込み・お問い合わせ

宛先: E-mail ictiwate2017@gmail.com

FAX 0191-33-1601 菊池直実 宛(岩手県立一関清明支援学校)

件名: 一関場所 2019 申し込み

本文: (以下の内容を明記してください)

氏名/所属/職種/講師への質問(任意)

主催・共催

i-C⁺+いわて(岩手大学・岩手県内の特別支援学校の有志職員)

ぼけっとの会 重い障害の子供たち・人たちの地域生活を豊かにする会

いわて未来づくり機構 医療・福祉連携作業部会(部会長 岩手県立大学教授 小川晃子)

島根大学ヒューマンインタフェース研究室

一関工業高等専門学校 未来創造工学科 電気・電子系

後 援

一関市

社会福祉法人 光林会

岩手県重症心身障害児(者)を守る会

NPO 法人くるりん

重度障害児・者のための コミュニケーション支援セミナー

参加申込
締切
6月7日
17時!

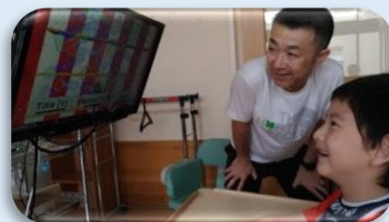
in 一関!



障害がたいへん重く、これまで意思の表出が難しいとされていた人でも、テクノロジーを活用することで表出が可能となり、周囲とコミュニケーションが図れるようになります。「視線入力」等の最新のテクノロジーを使いこなせば、大きく生活の質を豊かにすることができます。

このセミナーでは、第一線を走る専門家・技術者・支援者による講演や当事者による実演を交えた紹介を行い、参加者の皆さんで、ちょっと先の未来を明るい未来に変えていきます。ICT機器の体験会や個別の相談会も行います。

日時 2019年6月9日(日) 9:30~15:00 *交流会 15:15~16:00
場所 岩手県立一関清明支援学校 体育館
 岩手県一関市赤荻字上台 96番5
内容 講演(事例紹介等)・個別指導・個別相談・交流会
定員 約70名
参加費 無料(交流会参加費 300円)



講師

伊藤 史人

島根大学総合理工学研究科 助教
 EyeMoTシリーズ、振動フィードバックシステムバイブマン開発者。バリアフリーマップアプリ WheelLog! 技術責任者。2017年日本賞クリエイティブ・フロンティア部門最優秀賞、2018年島根大学研究表彰および優良教育実践表彰を受賞

林崎 俊男

青森県立浪岡養護学校 教諭
 特別支援学校において視線入力を取り入れた指導に積極的に取り組み、周知活動を行っている。

原田 稜大

栃木県那須塩原市在住 SMAI型当事者
 視線入力装置とスイッチを併用し、MMD(3DCGムービー製作ツール)を使用してクリエイティブ活動を行っている。15歳。

引地 晶久(ネット参加)

西部島根医療福祉センター 作業療法士
 島根県内のナンバーワン視線入力実践者。
 たくさん子どもたちの「できる」を支援している。

中島 勝幸

株式会社ユニコーン 代表取締役
 視線入力ソフト miyasaku EyeCon 開発者
 使用者の要望に応じて文字入力等、操作しやすいソフトに更新し続けている。

高橋 正義

秋田県立能代支援学校 教諭
 特別支援学校において視線入力の実践・研究に取り組み、実践を丁寧にまとめ公表している。

柳沼 佑介

神奈川県立中原養護学校 教諭
 特別支援学校において視線入力の実践・研究に取り組み、実践の成果をあげている。

板倉 ミサヲ

77歳の元女子高生。
 平成30年度 岩手県立盛岡となん支援学校を卒業。

★お申し込み・お問い合わせはE-mail・FAXで★

件名: 一関場所 2019 申し込み

本文: (以下の内容を明記してください)

氏名/所属/職種/交流会参加欠/

講師への質問(任意)

宛先: E-mail ictiwate2017@gmail.com

FAX 0191-33-1601

菊池直実 宛 (岩手県立一関清明支援学校)

主催・共催

i-C⁺ について(特別支援教育 ICT 活用支援グループ)
 ぼけっとの会 重い障害の子供たち・人たちの地域生活を豊かにする会
 いわて未来づくり機構 医療・福祉連携作業部会
 (部長 岩手県立大学教授 小川晃子)
 島根大学ヒューマンインターフェース研究室
 一関工業高等専門学校 未来創造工学科

後援

一関市
 社会福祉法人 光林会
 岩手県重症心身障害児(者)を守る会
 NPO 法人くるりん

「重度障害児・者のためのコミュニケーション支援セミナー in 一関」

～まあそう言わず、やってみましょう!なんとかなります。～

参加申込書 (FAX 用)

FAX番号 0191-33-1601

お名前		連絡先 (E-mail) 所属	交流会
1			参加 ・ 不参加
2			参加 ・ 不参加
3			参加 ・ 不参加
4			参加 ・ 不参加
5			参加 ・ 不参加

※ご質問・ご相談等がございましたら、お書きください。

問合せ先



担当

菊池 直実 (岩手県立一関清明支援学校)

E-mail ictiwate2017@gmail.com